

【郡山女子大学附属高等学校との学術連携事業】 ごみ分別サポートロボット設置と 段ボールコンポストを活用した、食品ロス削減及び 食品ロスのリサイクル



令和4年12月6日
郡山市環境部
3R推進課
課長 小野浩幸
TEL: 924-2181

SDGs ターゲット 12.3 「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失など生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる」

SDGs ターゲット 12.5 「廃棄物発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

若者(生徒)の循環型社会の意識向上を図るため、ロボットを利用したごみ分別サポート及び段ボールコンポストを活用した食品ロス削減及び食品ロスのリサイクルについて、郡山女子大学附属高等学校様と以下のとおり連携事業を行います。

【連携事業】

○ ごみ分別サポートロボット設置

郡山女子大学附属高等学校の研究部がコミュニケーションロボット「S o t a」(※)を校内のフリースペースに設置します。生徒に対し、ロボットがペットボトルのキャップやラベルの分別の仕方のサポートを行います。ごみ分別の仕方については本市で監修を行いました。

※コミュニケーションロボット「S o t a」は郡山女子大学附属高等学校様が「福島県学術教育振興財団」の助成事業を活用し、導入したものです。

○ 段ボールコンポストを活用した、食品ロスのリサイクル

本市より、無償配布する段ボールコンポストを活用し、校内の実習等で生じる生ごみを堆肥化する食品ロス削減と食品ロスのリサイクルを行います。堆肥は校内の花壇等に利用し、資源循環のモデル事業となります。また、段ボールコンポスト利用モニターとしてご意見をいただきます。

本事業の実施にあたり、ロボットのお披露目式及び段ボールコンポストの引渡しを行います。なお当日は、生徒によるロボットのごみ分別サポートのデモンストレーションも行います。

- 1 日 時 2022年(令和4年)12月14日(水) 午後4時00分から
2 場 所 郡山女子大学附属高等学校 プリンセス広場(第2体育館2階)
3 出席者 郡山女子大学附属高等学校

特別進学クラス 研究部生徒

教 頭 平栗洋三 様 顧問教諭 水澤成宏 様

郡 山 市 環境部長

ごみ分別の仕方
を教えるよ



設置されるおしゃべりロボット



引渡される段ボールコンポスト